

基本事業コード	12070001	担当課所名	市立病院医事課
基本事業名	市立病院医事事業		
総合振興計画 位置づけ	基本柱(章)	3	温もりと安心のある「健康のまち」
	政策	2	安心できる医療のまちづくり
	施策	2	公的医療機関の充実
総合振興計画 91 ページ			

基本事業の概要	患者の診療内容を適切に反映させ且つ迅速な会計業務を行うことにより、地域の人々の健康保持に必要な医療を提供する。
---------	---

対象	患者
意図 (対象をどのようにしたいか)	診療内容を適切に反映させ且つ迅速な会計業務を行うことにより、健康保持に必要な医療を安心して受けられるようにする。

基本事業指標	指標の算式	単位	23年度	評価年度(24年度)		26年度	他団体の指標(数値)
			過年度実績値	目標値	実績値	目標値	
市立病院患者数	入院外来年間延べ 受け入れ患者数	人	108,337	109,000	109,917	111,000	

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆

枝番号	事務事業名 (★=実施計画事業)	指標			24年度	単位	事務事業評価 26年度以降の 事業の方向性 コスト成果	重点化
		事業費(円)			目標値(上段)			
		23年度決算額	24年度決算額	25年度予算額	実績値(下段)			
01	病院情報システム維持管理事業	指標 待ち時間満足度			65	%	C	◎
		29,862,000	34,866,090	41,608,000	46.4		拡大 拡充	
02	医療費請求・収納事業	指標 医療費査定率			0.3	%	B	
		60,745,607	60,553,940	59,765,000	0.26		維持 拡充	
03		指標						
04		指標						
05		指標						
06		指標						
07		指標						
08		指標						
09		指標						
10		指標						
11		指標						
12		指標						
13		指標						
14		指標						

(参考) 最終予算額(円)		92,942,000	101,449,000	
事業費の合計(円) (A)		90,607,607	95,420,030	101,373,000
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
正規職員	地方債			
	その他特定			
臨時職員 (事業費に含む)	一般財源	90,607,607	95,420,030	101,373,000
	業務量	3.00人	3.00人	
人件費(B)		17,826,768	18,061,503	
業務量		0.00人	0.00人	
人件費		0	0	
事業費合計(人件費込み) (円) (A)+(B)		90,607,607	95,420,030	

【重点化欄】

◎: 評価時点以降の事業の方向性(コスト・成果)の状況から、特に重点化する必要がある事業(1つ以内)

○: 重点化する必要がある事業(2つ以内)

成果の方向性	拡充	×	C, B	B, C	C
	維持	×	B	A	×
	縮小	×	C	×	×
	休廃止	D	×	×	×
	皆減 縮小 維持 拡大 コスト投入の方向性				

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか。 基本事業の意図は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？
基本事業指標の分析	この事業は地域の方々が健康保持に必要な医療を安心して受けられるようにするため、より多くの患者さんに利用していただけることを目標に掲げた。医師をはじめ病院全体の努力により、昨年に引き続き患者数が増加し、今年度も目標患者数を上回る結果を出せた。受診が減少することのないよう努力していくことで、健全な運営を継続し安定した医療を提供していけるよう、基本事業の意図として適切であると考えます。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題点はないか？ 患者は納得のいく医療行為、迅速な対応、正確な医療費請求を望んでいる。医師が行った複雑多岐にわたる医療行為について、医事システムを利用し可能な限り短時間で完結させ、待つことで更なる負担とならないよう努めることは重要である。また、病院事業において医療費請求・収納業務は必須であり、請求した診療報酬を全て受領できることを目標に努力していくことは、安定した運営を継続するために重要な業務である。
実施主体の妥当性	行政(国・県・市)・企業・市民・NPO等それぞれの実施主体は適切か？ 地域の中核となる公的病院として安定した運営のために業務を実施していくのは当然必要と考える。

↓ Action

◆改善提案◆

新規に実施する事務事業名	事業の概要
<p>表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、重点化する事業として選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述 『病院情報システム維持管理事業』を重点化する事業として選択した理由は、①病院情報システムトラブルや端末の経年劣化による業務の支障が多数報告されていること、②サーバーの経年劣化によるシステムダウンが起こったこと、③現在のサーバーのOSでは、端末機のOSにおいてWindows XPより後出のOSには対応しておらず、平成26年4月にはマイクロソフトのサポートが終了してしまうこと、これらを背景に早急に対応策を検討する必要があるため。</p>	
改善のため休廃止する事務事業名	休廃止する理由
この基本事業の意図を達成するための、具体的な改善提案(改善内容、始期、終期等)	
予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	<p>医療費請求・収納業務:診療報酬請求事務の検証と情報の共有化による査定率の削減を図るとともに、患者負担分未収金発生防止等対策の再構築を進める。</p> <p>収納業務:窓口における一部負担金等の収納について、未収の発生原因を調査し対策を講じる。 請求業務:診療報酬に係る返戻又は減額査定を防ぐために、審査結果通知を調査する等の対策を講じる。</p> <p>収納業務:納入の無い患者への個別対応、当日支払えない患者へ払い約束書への記入を実施。請求業務:審査結果通知を調査し、査定・返戻原因の分析・修正により次月以降請求に即反映させた。</p>
短期的(1~2年以内)に実施可能な改善提案	<p>病院情報システム維持管理業務:システムトラブルやサーバー・端末機器の経年劣化による業務の支障を減少させ、円滑に受付、診療、会計等の業務を進めるため、システムのリース期間内の延命化策を講ずる。さらに、より効果的な次期病院情報システムについての調査検討を、25年度に検討委員会を立ち上げ、院内で検討する。</p>
中長期的(概ね3~5年)に実施可能な改善提案	
改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー	
業務の支障を減少させ、患者の待ち時間を改善することで、患者の負担を軽減し、安心して医療を受けられるようにする。	

基本事業執行責任者 (担当課長名)	大野 輝尚	電話番号 0494-23-0611
----------------------	-------	----------------------